

東日本大震災からの復旧・復興

～福島県飯館村から千葉県山武市へ牧場移転し再起～

東日本大震災で被災後、見事に肉用牛経営(繁殖・肥育一貫)を再開し、新たな土地である千葉県山武市で活躍し続けている小林牧場を紹介する。

「並々ならぬ思いで取得した用地には少し余裕がある。是非若手を育成したい。牛を育てながら若い後継者も育てていきたい。一緒になって和牛経営を展開したい。」と担い手育成や山武市の地域振興への思いも強い。

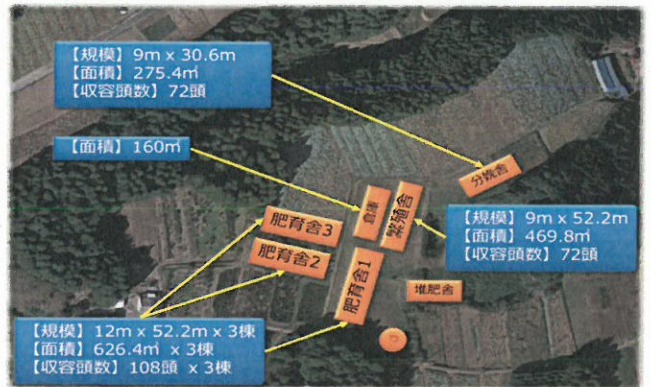
1. 牧場概要

名称	小林牧場(小林将男氏)
住所	千葉県山武市森
経営形態	肉用牛繁殖肥育一貫経営(黒毛和種)
飼養頭数	繁殖雌牛: 約 50頭 肥育牛: 約100頭
労働形態	家族経営(本人と妻)



2. 経緯

～平成23年3月	福島県飯館村で、肉用牛一貫経営
平成23年4月～	千葉県山武市(板中新田)の空き牛舎を借り、経営再開(飯館村より142頭を運搬)
平成27年～	被災地域農業復興総合支援事業により、飯館村が山武市(森)へ牛舎を整備(12月着工、翌3月竣工)
平成28年6月～	現在の場所(森)で、肉用牛の飼養を開始



3. 被災地域農業復興総合支援事業の概要

東日本大震災復興交付金

事業実施主体	飯館村
事業内容	農業用機械施設整備 ビニールパイプハウス型肥育舎 3棟 ビニールパイプハウス型繁殖舎 1棟 ビニールパイプハウス型分娩舎 1棟
補助率	国3/4、飯館村1/4



畜舎内の様子

4. 今後の取組等

- 平成28年8月に襲来した台風9号により牛舎等に一部損壊の被害が発生したが飯館村の支援により復旧。小林氏は、当面、山武市で、近隣の農地を買い取り、牛舎の増設等を進めるなどして、肉牛を増頭する意向。
- また、山武市は、酪農家は多いものの、肉用牛農家は少ない。今後小林氏は、乳肉複合経営への転換等を図ろうとする者等(意欲ある地域の畜産農家等)へ、肉用牛の技術移転等、積極的に地域貢献したい意向。



小林将男氏(60歳)